

# 研究公開文書

令和2年 11月 9日

研 究 名	多施設後方視的研究による潰瘍性大腸炎に対するレミケード®の長期治療成績
研究の概要	潰瘍性大腸炎は原因不明の炎症性疾患で、TNF- $\alpha$ を特異的に阻害するレミケード®（IFX）は国内で10年に渡り使用されているが、長期の治療成績は報告が少ない状況である。北里大学病院と関連施設の多施設で後方視的にIFXの長期治療成績について検討を行い、本研究により長期治療成績を明らかにする。
研究対象	2010年10月1日～2018年12月31日の間に当院または関連施設の外来または入院中に潰瘍性大腸炎の治療にレミケード®を使用した方
研究責任者	北里大学医学部消化器内科講師 横山薫
研究実施期間	研究許可日～2023年3月31日
連絡先	北里大学医学部消化器内科講師 横山薫